

◆水産業改良普及事業

令和 6 年度沖縄県漁業士の認定

水産海洋技術センター 石川貴宣

1 内容

地域漁業振興の中核的漁業者を育成することを目的として、昭和 61 年から漁業士制度が全国一斉に始まった。本県では、昭和 61 年度に 6 名の漁業士が認定されて以来、令和 7 年 3 月末現在、漁業士は 72 名おり、その内訳は、名誉指導漁業士が 2 名、指導漁業士が 47 名、青年漁業士が 23 名となっている。

令和 6 年度沖縄県漁業士認定審査会が、県庁において令和 6 年 10 月 22 日に開催され、竹富町、八重山漁業協同組合より推薦を受けた指導漁業士候補 1 名について審査が行われた。その結果、新たに指導漁業士 1 名が認定された（図 1）。

2 令和 6 年度認定漁業士

指導漁業士（八重山漁業協同組合）

大城 洋一（おおしろ よういち）

平成 17 年から小浜島でモズク養殖業、刺網漁業、小型定置網漁業などに従事している。地元活性化に対する意識が高く、地元漁業者を中心に発足した任意団体に参加し、地域活性化活動に積極的にかかわっている。そのため、八重山漁業協同組合、竹富町の推薦を受け平成 23 年度に青年漁業士に認定された。青年漁業士認定後は、漁業技術の改善や経営の安定化、販路拡大を目指し、他地区の漁業者と積極的に交流している。令和 5 年度には、漁業士会副会長に就任。漁業活動以外でも、令和 6 年度から竹富町の食育推進計画である

「ばいぬ島健康プラン 21」の策定委員に選任された他、小浜島の漁業や自然を P R するためのテレビ取材、ラジオ出演に対応するなど地域のリーダー、取りまとめ役として重要な役割を担っている。



図 1 第 30 回沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会における漁業士認定証授与
（右から沖縄県農林水産部 長本統括監、大城洋一氏、沖縄県漁連 上原会長）